



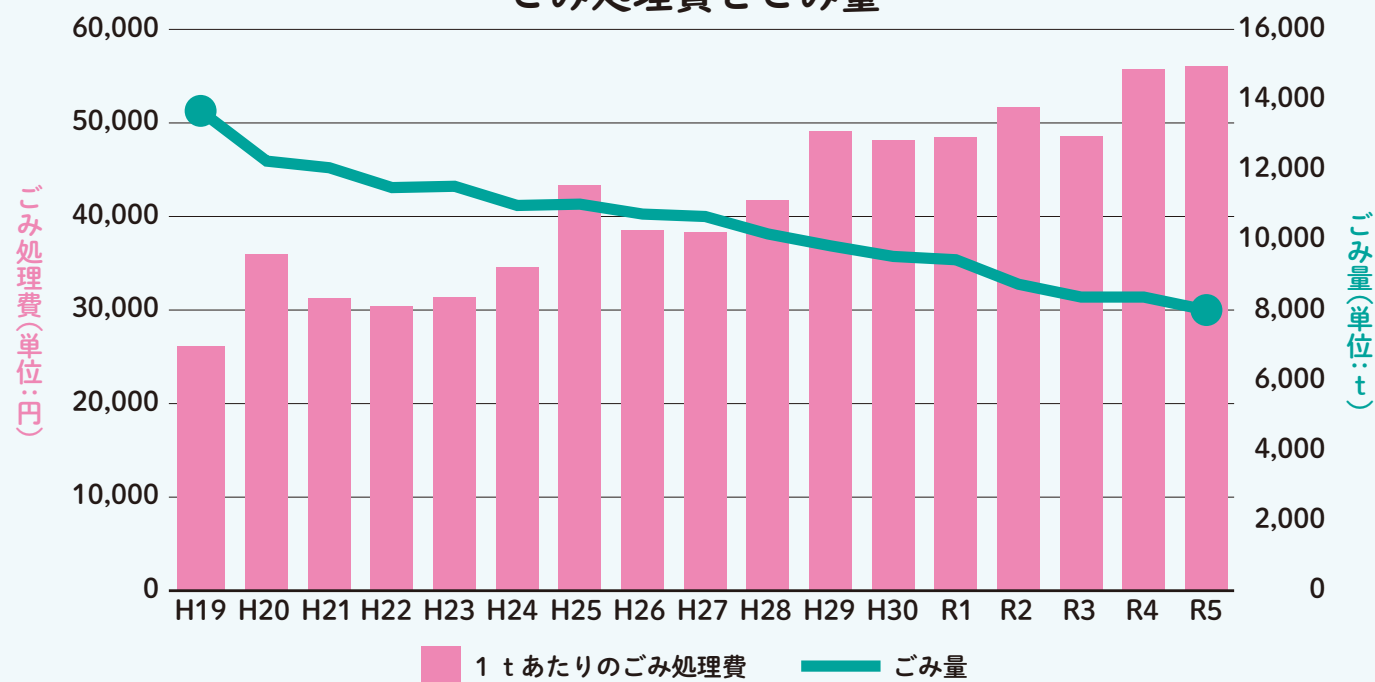
**ごみ処理手数料が変わります**  
問合せ先 環境対策課 ☎2213

ごみ処理手数料（持込手数料及び収集手数料）は平成19年に現在の料金に設定され、令和元年の消費税率の改定以外は現在まで18年間実質的な改定をせず維持してきました。この間、ごみの排出量は半減していますが、物価上昇等の影響により1tあたりのごみ処理費は倍増しています。

このような状況の中、排出量に応じた費用負担の公平性を図るため、令和8年4月1日からごみ処理手数料を改定することとしました。

より良い環境を次世代に引き継ぐため、ご理解とご協力をお願いします。

## ごみ処理費とごみ量



## 【新しいごみ処理手数料】 令和8年4月1日から

持込手数料（清掃センター持込料金）					収集手数料（指定ごみ袋料金）				
重量		～10kg	20kg	30kg		15ℓ	30ℓ	45ℓ	75ℓ
旧料金	一般ごみ (70円/10kg)	100円	100円	210円	旧料金	10円	20円	31円	52円
	粗大ごみ (200円/10kg)	100円	100円	600円	新料金	13円	25円	39円	65円
新料金	直接搬入による 一般廃棄物	200円	400円	600円	新販売価格	260円	500円	780円	1,300円

※20kg以下1回につき100円の廃止  
※処理に係る費用がほぼ同額であるため、一般ごみと粗大ごみを統一した新料金

年間排出される約8,000tのごみの内、約50%（約4,000t）が紙・布類です。この内約50%が資源化可能といわれています。つまり約2,000tのごみが資源化されないまま焼却処理されている計算になります。貴重な資源の有効活用のため、古紙類のリサイクル分別を進めましょう。

また、清掃センターでは機密書類の処理（無料）も受け入れています。個人や事業所などで出される個人情報等の機密書類を処理したい場合は、ダンボール箱に詰めて封をし、清掃センターに直接持ち込んでください。

美しいまち下田を将来に引き継ぐため、皆様のご協力をお願いします。

ごみの  
資源化・減量化に  
取り組みましょう！

# 令和7年度上期執行状況

令和7年9月末現在の、各会計の収入、執行状況は次のとおりです。負担金や使用料・手数料など、歳入の確保に努めるとともに、歳出では効率的な執行を図りながら、これまでと同様、財政の健全化に努めていきます。

市では、今後も市の財政状況がどのような状況であるのか市民の皆さまにお知らせし、市政への理解を深めていただくために、定期的に「財政状況の公表」を行っていきます。

## 歳出

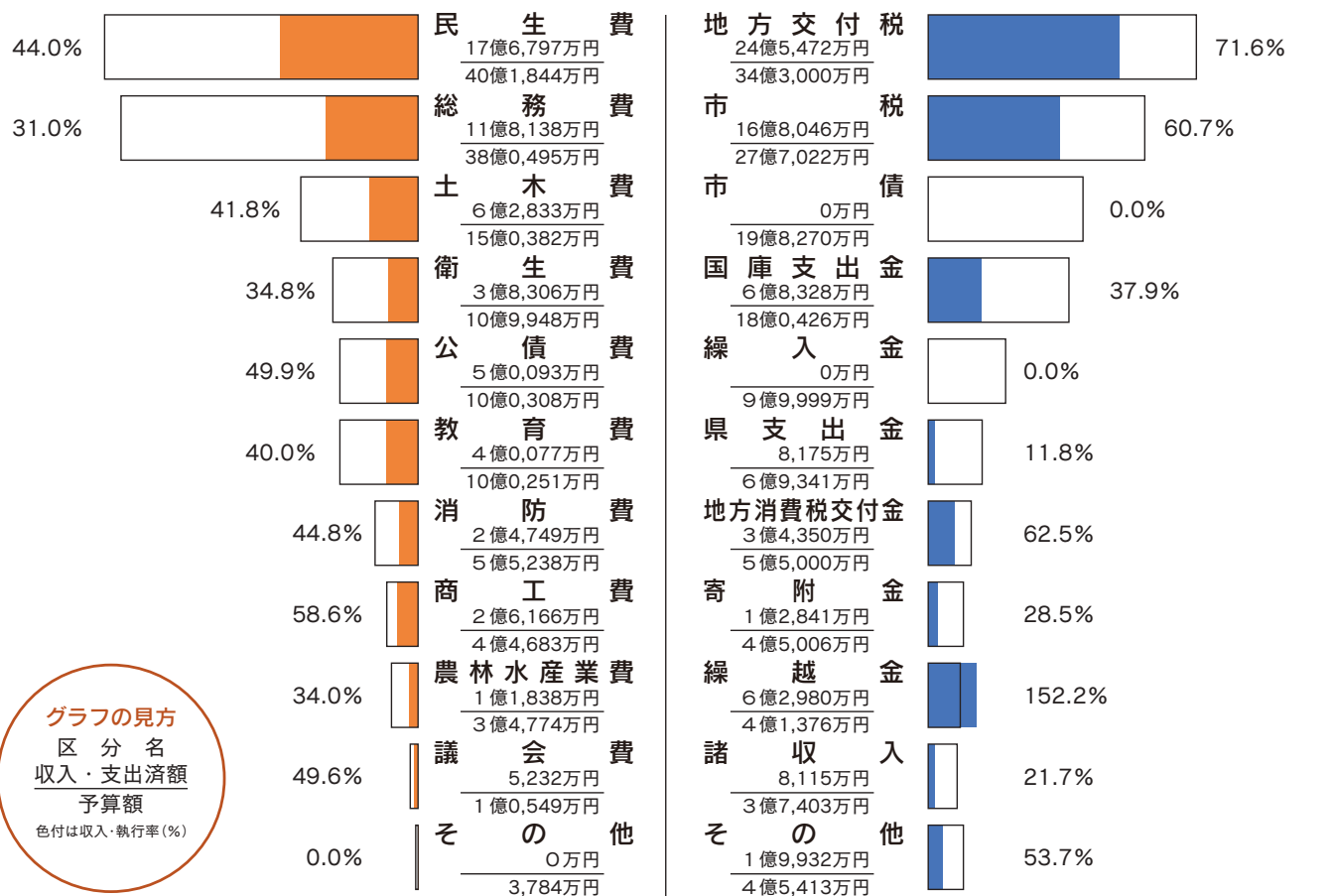
執行率 39.8%  
55億4,229万円  
139億2,256万円

## 令和7年度一般会計の執行状況 予算額139億2,256万円

※繰越明許分を含む

## 歳入

収入率 45.1%  
62億8,239万円  
139億2,256万円



## ● 令和7年度特別会計及び企業会計の執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	220万円	471万円	11万円
下田駅前広場整備事業特別会計	750万円	365万円	85万円
公共用地取得特別会計	1,980万円	28万円	26万円
国民健康保険事業特別会計	29億1,700万円	11億2,654万円	9億8,958万円
介護保険特別会計	27億2,300万円	14億9,166万円	10億6,762万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,500万円	1億8,006万円	1億0,044万円
水道事業会計	12億7,140万円	3億6,118万円	2億2,547万円
公共下水道事業会計	15億0,430万円	5億9,268万円	3億0,572万円
漁業集落排水事業会計	3,680万円	1,162万円	515万円
計	89億7,700万円	37億7,238万円	26億9,520万円